



連合長崎  
会長 森 光一

連合長崎構成組織の組合員並びにご家族のみなさん、明けましておめでとうございます。皆様におかれては健やかで気持ち新たな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、去年は7月に第24回参議院選挙が施行されました。全国比例については12名の仲間のうち4名が当選に届かなかったことは、まさに

断腸の思いであります。また選挙区選挙も超短期決戦や過去経験が無い野党統一候補としての戦いなど戦術や戦略面で難しい対応を余儀なくされました。今後の戦いのあり方についても検証が必要と考えます。民進党についてもこの点は真摯に受け止め次期衆議院選挙への早期の対応が必要と考えます。私たち労働者の政策制度実現のためにも、国会は勿論のこと、前回の統一地方選挙で大きく減少した地方議員を如何に増やしていくかが私たちにとっても政党にとっても大きな課題であります。連合長崎は全ての働く者の代表として「働くことを軸とする安心社会」の実現へ向け以下の2点を基軸として広く県民に理解と共感を求める活動を展開して行きます。

一つ目は「ストップ・ザ・格差社会!暮らしの底上げ実現」に向けた行動と世論喚起についてです。

「働くことを軸とする安心社会」を構築するためのビジョンを深め広げる必要があります。「クラシノソコアゲ」を実現するためには全ての組合員はもとより全ての労働者の理解と行動に繋げるべく、職場や地域で積極的に発信していくことが肝要だと思います。社会において労働組合ほど民主主義的で組織機構と運営にこだわる組織はありません。しかしせつかくの組織機能を一人ひとりがメッセージをつなぎ、リレーすることが出来なければ残念ながら宝の持ち腐れとなりかねません。自信と誇りを持って前進することが必要です。

二つ目は2017年春季生活闘争についてです。



第15回フォトコンテスト最優秀作品  
「洛陽」堀 隆義(長崎県タクシー労組観光支部OB)

今次春季生活闘争方針は11月25日の中央委員会で4%（賃上げ2%・定昇2%）の要求方針を決定しました。私たちは明日への希望を確かなものにするため「働くこと」の価値を高め如何にして生活の維持向上をはかるべきか、働きや・働き方に応じた適正な処遇がなされ、職場や地域でも活躍することが出来る社会の構築を目指さなければなりません。さらに中小組合においては昨年春闘から取り組んだ大手追従・大手準拠などの構造転換の取組みも前進させることが重要です。併せて「底上げ春闘」の取組みに向け「サプライチェーン全体での付加価値の均等分配」の概念の普及も改めて提起しなければなりません。

組織化された私たちがその先頭に立ち社会の期待に応えなければなりません。全ての働くもの国民や県民の暮らしの底上げに向けた役割は極めて大きいものがあり全力を傾注し期待に応える結果を残さなければなりません。

他にも組織強化と拡大、核兵器廃絶への取組み、長崎県や各行政への要請行動、自治体中間選挙への対応など多くの課題が山積しています。

いずれも私たちの生活に直接影響する大切な課題です。構成組織のみなさんとともに行動を起こしていきたいと思ひます。

皆様の旧に倍するご支援・ご協力をお願いすると共に、2017年が皆さんにとって希望に満ちた輝かしい一年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



日本労働組合総連合会  
会長 神津里季生

新年明けましておめでとうございます。日頃からの連合運動に対する皆様のご理解とご支援に改めて御礼申し上げます。

昨年は、米国の大統領選挙、EU離脱を決めた英国の国民投票をはじめ、世界の政治経済の今後に大きな影響を及ぼす出来事が相次ぎました。グローバル化による負の側面としての産業や雇用の空洞化、格差や貧困の拡大によって、社会から取り残されたと感じる人々の不満や怒りが既存の政治に対する異議申し立てにつながっているとの見方は、これらの動きの本質を言い当てていると思います。

そうした中、政治家の手法も、内外を問わず極端な言動で不満や怒りをあおる傾向が強まっているように感じられます。しかし、それでは社会の分断や排除を助長するだけです。いま政治に必要なのは、持続的で包摂的な社会に向けた責任ある行動、そして丁寧な対話と発信です。労働運動もまた、国内外の情勢が不確実さを増し、雇用や生活に対する不安が渦巻いている時こそ「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で働く者の頼りとなる存在」として、より一層の能動的な行動で、世の中の期待に応えていくことが求められています。

2017春季生活闘争は、経済の自律的な成長、社会の安定性の確保に向けて、この間生み出してきた「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続し、さらに広がりを持たせるためのたたかいです。同時に、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から「働き方」「働かせ方」の見直しを進めることも重要です。これら連合ならではの取り組みと「1000万連合」に向けた組織拡大の営みを連動させ、労働組合の良さ、労使関係の大切さをあまねく広げていかねばなりません。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、春季生活闘争、政策・制度の実現、組織拡大など、いずれの取り組みにおいても、一人ひとりが自らの雇用や生活と政治・政策とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンをはじめ、「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を広げるべく、お互いに努力を重ねていくではありませんか。

本年も連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



民進党長崎県総支部連合会  
代表 衆議院議員  
高木 義明

明けましておめでとうございます。連合長崎の皆様にはご家族お揃いで新年をお迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は、公私ともに暖かいご指導、ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の米国トランプ大統領の誕生と英国のEU離脱は、多くの世界の人々を驚かせ、わが国にも少なからず影響を及ぼすでしょう。激しい競争で職や生活に不安を抱く人々や反グローバルを叫ぶ人々の動きを十分に検証しなければなりません。

わが国でも格差が拡大しつつあり、国民生活は厳しさを増しています。そのもとで安倍一強政権は、「働き方改革」を掲げ、働く者がないがしろにされる懸念があります。自由貿易体制のもとの国際競争、それを支える柱は、これからも職場での「人の力」です。それを削ぐ政策は、わが国社会の基盤を揺るがすものであり、厳しくチェックしなければなりません。

今年は酉年です。鶏は陽が昇る時に時を告げます。この不透明な時代で、希望の日の出を迎えるよう、私も気持ちを新たに皆様への期待に応える決意です。

年頭にあたり、ご家族皆様のますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたします。



社民党長崎県連合  
代表 吉村 庄二

新年あけましておめでとうございます。日頃から連合長崎の皆様方に大変お世話になっておりますことに心からお礼申し上げます。

さて、去年は政治決戦のひとつの参院選がありました。しかし、ご承知のとおり厳しい結果であり、私達は教訓として今後も頑張る決意です。

以前の総選挙、この参院選で大勝した安倍内閣は暴走して、従来の安保法制をはじめ、最近のTPPまで強行採決を続けています。

一方では、労働者いじめの働き方改革を進めており、労働者側からも大きな問題です。

私達も、これらの課題へ頑張る決意ですし、連合長崎の皆様方の2017年当初の団結の前進をご期待し、また、皆様方のご健闘を祈念いたし新年のあいさつとします。



長崎県退職者団体連合  
会長 辻 純

### 連合の闘いに期待

連合長崎に結集する組合員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。2017年が皆さんにとって良い年であることを期待します。

しかし、勤労者・退職者を取り巻く状況は、厳しいものがあります。連合は今春闘でベースアップの統一要求を「2%程度」にする方針を決めていますが、経営側の姿勢を崩すのは容易ではありません。安倍政権は、GDPの6割を占める個人消費が伸び悩み、アベノミクスの効果に陰りが見える中、今年も賃上げを後押しするとして動いていますが、まずは賃金や労働条件は自らの力で勝ち取るという決意が込められている要求だと思います。

高齢者・退職者にとっての年金・医療・介護などは、現役労働者の賃金や労働条件が向上しない限り成り立っていかない制度になっています。したがって、皆さんの闘いに期待するとともに、私達も現退一致の立場で活動していきたいと思えます。



長崎県知事  
中村 法道

### 新年を迎えて

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成29年度は、「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を基本理念に掲げ5つの将来像の実現を目指す、「長崎県総合計画 チャレンジ2020」の2年目となります。最重要課題である若年層を中心とした人口流出の抑制にさらに重点を置きながら各種の施策を推進してまいります。

その中でも「次代を担う「人財」豊かな長崎県」づくりにあたっては、県内就職の意識の醸成を図ることが必要です。そのため、キャリア教育の充実、県内企業の魅力や特色を生徒や学生に直接伝える機会を充実するとともに、高校卒業生等へふるさと情報を発信し、本県との結びつきの強化に力を注いでまいります。

しかしながら、行政の力だけの取組みには限界がございます。これからの長崎県の発展のため、どうか皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、この一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



# 「連合長崎青年委員会第27回総会」を開催

～若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！～

連合長崎青年委員会は、11月26日(土)教育文化会館において、青年委員会第27回総会を開催しました。

本年は、総会開会前に「日頃からの防災の取り組みについて」と題して、長崎県社会福祉協議会の山口しのぶ様に講演いただきました。もし災害が起こったら、仕事として何をするか、個人として何をするかなど、グループワークを通じて考えました。

総会では、青年委員会を代表して百田委員長(JP労組)があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎宮崎事務局長より激励のあいさつをいただきました。

報告事項では「2016年度活動経過報告」として、レクリエーションや構成組織青年委員会との意見交換、平和への取り組みなどについて報告をおこないました。

続いて、第1号議案の2017年度運動方針から、第2号議案の2017年度予算、第3号議案の役員選出まで提起を行い、満場一致で承認されました。また、本総会ではスローガンを「若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！」とし、①ふれあい・交流を深める活動、②次世代の青年リーダー育成のた



めの意見交換・学習会、③平和への取り組み、④福祉・ボランティア活動、⑤政治活動への取り組みを基盤に「力強く、楽しく、心通じ合う」活動を展開していくことを確認しました。

最後に、百田委員長による参加者全員の「団結ガンバロウ」で総会を締めくくりました。新体制は幹事が1名増え、9人態勢となりました。また、新たなメンバーで頑張ります。

# 「連合長崎女性委員会第27回総会」を開催

～社会のあらゆる分野の性差別をなくし、男女平等社会を実現しよう！～

連合長崎女性委員会は、11月26日(土)教育文化会館において、女性委員会第27回総会を開催しました。

今年は総会の前段に「乳がん・子宮がんについて知ろう」と題して、いまむらウイミズクリニックの渡海由貴子先生からご講演いただきました。女性が健康で働き続けるためには、まず自分の身体について知り、



そして検診等で早期発見に努めることが大切と学ぶことができました。

総会では、女性委員会を代表して中村委員長(日教組)があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎宮崎事務局長より激励のあいさつをいただきました。

報告事項では「2016年度活動経過報告」として、女性委員会が主催する学習会や、男女平等参画実現に向けた取り組み、連合長崎や青年委員会と連携した平和の取り組み等について報告を行いました。

続いて第1号議案として、『社会のあらゆる分野の性差別をなくし、男女平等社会を実現しよう！』を目標に「2017年度の活動方針」、第2号議案「2017年度予算」、第3号議案「役員選出」まで提起を行い、満場一致で承認されました。

最後に総会宣言として、『男女双方のワーク・ライフ・バランスの実現で「働くことを軸とする安心社会」をつくっていく』ことを確認し、総会を閉会しました。

# 連合ながさきユニオン定期大会

～一人はみんなのために、みんなは一人のために～

連合ながさきユニオン第4回定期大会が2016年11月19日に長崎地区労会館会議室で開かれました。「1人でも加入できる労働組合」として2014年3月29日に結成され、組合員11人でスタートしましたが、現在70人の組合員の方がいます。突然の解雇やパワハラなど厳しい労働環境の中で組合員となり交渉を重ねながら、解決に向けて頑張っています。普段は組合員同士なかなか会う機会がありませんが、総会後は食事会を開き交流しました。

誰にも相談することが出来ずに劣悪な環境で仕事を余儀なくされている働く仲間はたくさんいる現状から、「連合ながさきユニオン」の社会的役割と使命はますます大きくなっています。これからも、各構成組織・各地協のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## 連合 愛のキャンパ 助成支援団体募集

「連合・愛のキャンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援、および自然災害等による被災者に対する救援・支援を目的としています。

今回は、助成支援団体(事業)として、下記の通り募集を行います。

### 【地域助成対象資格】

- 連合組合員及びその家族、OB(家族を含む)が積極的に運営に参加しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。
- 連合長崎構成組織、地協・ブロックが日常的な活動で連携しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。



### 【対象となる活動】

- 大規模災害などの救援・支援活動
- 戦争や紛争による難民救済などの活動
- 人権救済活動
- 地球環境保全活動
- ハンディキャップをもった人たちの活動
- 教育・文化などの子どもの健全育成活動
- 医療や福祉などの活動
- 地域コミュニティ活動  
(レクリエーション活動を除く)
- 生活困窮者自立支援

### 【募集期間】

- 2017年1月1日(日)～3月31日(金)まで

### 【お問い合わせ】

- 具体的な内容等について、不明な点は連合長崎までお問い合わせ下さい。

昨年度は佐世保音声訳の会が「連合・愛のキャンパ」の助成を受けています。「佐世保音声訳の会」は、市や社協の広報誌などを文字から音声に訳し、視覚障がい者の方に提供をしている団体です。愛のキャンパの助成金は、音声訳をする際に使われる機器の購入等に使われる予定です。



— 新年あけましておめでとうございます —



副会長  
本村 和博  
(自治労)



副会長  
中川 俊紀  
(基幹労連)



副会長  
石井 健次  
(U Aゼンセン)



副会長  
岩永 洋一  
(J P労組)



副会長  
本多 毅  
(電力総連)



副会長  
上田 洋一  
(情報労連)



事務局長  
宮崎 辰弥  
(情報労連)



副事務局長  
佐竹 明彦  
(自治労)



副事務局長  
増本 利恵  
(自治労)



副事務局長  
北川 淳  
(J P労組)



副事務局長  
芳川 孝太郎  
(電力総連)



副事務局長  
鴨川 博明  
(基幹労連)



執行委員  
山下 耕司  
(自動車総連)



執行委員  
桜井 健一  
(電機連合)



執行委員  
山口 裕志  
(運輸労連)



執行委員  
藤澤 恒昌  
(全駐労)



執行委員  
永野 攻生  
(フード連合)



執行委員  
東 洋一  
(自治労)



執行委員  
野原 秀昭  
(交通労連)



執行委員  
松本 順一  
(海員組合)



執行委員  
堤 典子  
(日教組)



執行委員  
金原 剛蔵  
(自治労連)



執行委員  
田尻 正行  
(私鉄総連)



執行委員  
岩口 保則  
(J R連合)



執行委員  
嶋 三郎  
(国公総連)



執行委員  
鶴田 英二  
(全自交労連)



執行委員  
岩永 財  
(全国ガス)



執行委員  
廣田 勝美  
(長崎私交通)



執行委員  
酒井 隆  
(長崎地協)



執行委員  
菊永 昌和  
(佐世保地協)



執行委員  
入江 良美  
(諫早・島原地協)



執行委員  
塩入 高志  
(大東・岐岐・対馬地協)



執行委員  
高井 良芳行  
(五島地協)



執行委員  
中村 正子  
(女性委員会・日教組)



執行委員  
坂本 久美子  
(女性選出・自治労)



会計監査  
倉田 昌明  
(自治労)



会計監査  
橋田 和廣  
(交通労連)



会計監査  
貴戸 淳二  
(全労金)



書記  
深江 絵美  
(連合長崎)



書記  
草野 いづみ  
(連合長崎)



書記  
本郷 栄子  
(佐世保地協)



2017年皆さんとともに頑張ります！ よろしくお祈りします。